

愛知県震度観測・調査報告書－第 3 1 報－の概要

1 調査の概要と目的

この調査は、地震動の伝わり方や地域特性を明らかにするため、県内全市町村に設置している計測震度計による震度情報ネットワークの震度観測データ等を活用して、平成 23 年 1 月～12 月に発生した地震と震度に関する調査結果をまとめたもので、防災対策の基礎資料、県民の地震に対する理解を深めるために活用されることを目的としている。昭和 56 年より 1 冊／年で発行しており、本書で 31 冊目となる。また、トピックスとして、平成 23 年 3 月に発生した東北地方太平洋沖地震についての分析と、地震想定を行う際に必要となる地下構造調査及び平成 24 年 3 月に内閣府が発表した南海トラフを震源とする巨大地震に関する想定についての解説を掲載した。

2 愛知県震度観測・調査報告書－第 3 1 報－の概要

(1) トピックス

ア 2011 年東北地方太平洋沖地震とその教訓

2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震が、従来の想定を遥かに超える超巨大地震となった原因について、想定と実際の事象との相違を、各種調査結果を基に解説するとともに、今後の対策を検討する上で教訓とすべき点について述べている。

イ 地下構造調査

地震動に影響を与え、被害の様相大きく左右することから地震想定を行う際に必要となる地下構造調査の方法について紹介するとともに、濃尾平野の地下構造について解説している。

ウ 南海トラフの巨大地震の想定

2012 年 3 月 31 日に内閣府が発表した、南海トラフを震源とする巨大地震による震度と津波の想定について解説している。

(2) 震度観測資料

ア 愛知県における地震

平成 23 年に、県内のいずれかの市町村で震度 1 以上が観測された地震の発生は 83 回であり、震度 4 以上が観測された地震は 2 回であった。

イ 国内の主要な地震

平成 23 年に、国内で、被害を伴った地震の発生は 28 回であり、最大の被害は 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震であった。

ウ 世界の主な地震

平成 23 年に、世界で人的被害を伴った地震の発生は 39 回であり、死者 50 名以上の地震の発生は東北地方太平洋沖地震を除き 4 回あった。

3 調査研究成果の活用

調査報告書は、防災会議に報告するとともに、防災関係機関、市町村に配付し、地震防災対策の基礎資料として活用する。

また、県民が自由に閲覧できるように公立図書館、県民生活プラザ等に配付し、地震についての理解を深めてもらう。